

## 令和7年度（新城高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	法令違反職員はゼロ	職員行動指針を周知・徹底したほか、コンプライアンスに係る事故・不祥事防止会議を開催した。引き続きコンプライアンスに対する意識の向上を図っていく必要がある。
	法令遵守意識を向上させ、公務外の非行はゼロ	不祥事案について、時節を捉えての注意喚起を朝の打合せ、職員会議など常時機会を捉えて行った。 交通法規等の遵守、飲酒時における留意点等について公務員としての自覚を促し、全職員で互いに注意喚起を行った。
職場のハラスメントの防止	パワハラ・わいせつ・セクハラ行為を始めとした各種ハラスメントゼロ	さまざまなハラスメントについて、機会を捉えて、互いに注意喚起しあえる環境作りを行った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為のゼロ	生徒に対するわいせつ・セクハラ防止のため、職員一人ひとりの意識啓発やSNSによる生徒との連絡の禁止等を徹底し、相互にチェックできた。
	体罰、不適切な指導はゼロ	体罰や不適切な指導の理解を深め、生徒の理解に基づく支援を行った。また部活動においては複数顧問配置を行い、なおかつ全職員で見守りや安全管理に関わっていく体制を整えた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績の誤処理・進路関係書類の誤作成をゼロ	入選マニュアル・成績処理マニュアル遵守を徹底し、チェックを行い、データだけでなく配付書類等も必ず複数の職員で、複数回点検することを徹底した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止、暗号化フォルダ保管）	個人情報流出ゼロ	個人情報の取り扱い方について周知・徹底するとともに、併せてセキュリティ対策等を行った。
	個人情報を無断で持ち帰る職員はゼロ	個人情報の持ち出しは限られた安全管理や行事等の全体業務機会のみで、校外持ち出し許可等手続や方法を徹底した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	その人のみにしかできない業務はゼロ	グループ内の業務協力体制と複数業務体制を推進し、業務の効率化を図った。 人に依存した業務の削減を行った。

財務事務等の適正執行	私費会計基準に基づく適切な執行により、事故ゼロ	インターネットバンキングを活用して現金の扱いを減らし業務の改善を進めたほか、適正な会計執行・物品購入をすすめた。会計マニュアルの整備・活用を進め、会計担当者間の意思疎通を図ることができた。
------------	-------------------------	--

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

今年度も法令遵守に係る意識向上に向けた取り組みは成果を上げたと思われる。コンプライアンスに対する意識はあらゆる事故・不祥事の未然防止の基であるため、引き続き重点的に行いたい。

また、会計業務では執行管理に一部課題が残った。改善を進めてきているが、年度が切り替わるにあたり、再度注意点を周知することで適正な執行につなげたい。

本校では事故・不祥事の未然防止に係る職員の意識は高い。引き続き引き続き風通しのよい職場環境の整備と相談、協働の体制を進めて行きたい。